

2023年10月30日

ポジティブ・インパクト不動産投資について
 ～「明治安田ホール福岡」の運営を通じて、健康寿命の延伸を後押し～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、「ひとに健康を、まちに元気を。」をテーマに「明治安田ヴィレッジ」として本年8月に開業した「明治安田ホール福岡」への投資を、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱する「ポジティブ・インパクト不動産投資」^{（注1）}に選定しましたので、お知らせいたします。

当社は、SDGsにおける社会課題のうち、特に注力する優先課題の一つに「健康寿命の延伸」を掲げており、「みんなの健活プロジェクト」^{（注2）}を通じて、お客さまや地域のみなさまの健康づくりをサポートしています。「明治安田ホール福岡」の運営を通じ、福岡県など地元自治体が推し進める「健康寿命の延伸」への貢献をめざします。

また、当社がさらなる取組みが必要な優先課題と位置付けている「環境保全・気候変動への対応」の一環として、「明治安田ホール福岡」で使用する電力の100%を、水力や地熱を由来とする地産地消型の再生可能エネルギーで賄うことといたしました。^{（注3）}

引き続き当社は、責任ある機関投資家として、社会的価値と経済的価値の双方を創出できるインパクト投融資を通じ、社会的インパクトの創出・拡大を推進してまいります。

なお、本取組みでは、CSRデザイン環境投資顧問株式会社（代表取締役社長 堀江 隆一）より、ポジティブ・インパクト不動産投資フレームワーク^{（注4）}等との整合性や、特定したインパクトおよびその評価指標の妥当性等について、第三者意見を取得しています。^{（注5）}

【本ポジティブ・インパクト不動産投資の概要】

- ・面積約240㎡、シアター形式240席、スクール形式120席を収容するホールを新設
- ・「こころの健康」や「からだの健康」に関するイベントを定期的で開催し、地域住民の健康への意識向上や健診受診率の引き上げを通じて、健康寿命の延伸を後押し
- ・ホールの電力消費量の100%について地産地消型の再生可能エネルギーを導入

<p>ポジティブ・インパクト</p>	<p>健康寿命の延伸</p> 	<p>[アウトカム指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりに取り組んでいる人の割合 ・特定健診受診率
<p>ネガティブ・インパクト^{（注6）}</p>	<p>CO2の削減</p>  	<p>[モニタリング指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費量およびCO2排出量 ・再生可能エネルギー比率

（注1）インパクト投融資の手法のひとつで、環境・社会・経済、3つの側面の総合的な検討に基づいて、プラスの影響を増大しマイナスの影響を緩和しながら、SDGsの達成をめざすもの

【ご照会先】
 広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1



- (注2) 「人生100年時代」を迎え、健康寿命の延伸に対するニーズが高まっているなか、当社が「商品・サービス・アクション」の3つの分野で、「お客さま・地域社会・働く仲間（当社従業員）」の継続的な健康増進を応援する取組み
プロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ld/kenkatsu/>
- (注3) 石炭や石油といった化石燃料を使わず、再生可能エネルギーのみを電源由来とする「非F I T非化石証書（再エネ指定あり）」という仕組みを導入
- (注4) 投資家がインパクトに基づいた投資を実践するために、意思決定の指針となるよう、UNEP F I 不動産ワーキンググループによって策定された行動指針
- (注5) 詳細はCSRデザイン環境投資顧問株式会社のウェブサイト参照
http://www.csr-design-gia.com/info/pdf/Opinion_Fukuoka.pdf
- (注6) 投資により不可避に生じるものであり、発生すること自体にマイナスの意味はない。インパクト投資においては、その存在を把握した上でモニタリング・管理することが重要となる

以 上